

核兵器なくす第一歩
 核兵器禁止条約が採択されました。

パルコプの組合員活動委員さんが手書きしたイラストも活用して作成したオリジナルの署名用紙

ヒバクシャ国際署名
 HIBAKUSHA APPEAL

すべての人びとを絶対に被ばく者にはなりません 命輝く青い地球を未来に残すために

ヒバクシャ国際署名

2017年2月からとりくんできた「ヒバクシャ国際署名」の9月7日までの署名総数は、パルコプで42,163筆となりました。ご協力いただきありがとうございました。

全国の生協をはじめ多くの個人・団体が様々な活動にとりくみ、1,200万筆以上の署名が集まっています。

この署名が始まった段階では存在しなかった「核兵器禁止条約」は2017年7月に国連で採択され、条約が効力を持つための批准国50カ国も目の前です（10月13日現在）。

この署名に関してはいったん終了しますが、これからも平和でよりよい社会のために活動を続けていきます。

* これまでのとりくみピックアップ *

2017年7月

署名にとりくむにあたり開催した、平和の映画会。ロビーには原爆写真パネルも掲示



各地域で開催されたとりくみで呼びかけたり、街頭で署名活動を行いました



2017年6月 南森町交差点

2019年2月



2018年度の推進学習会では、ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダーの林田光弘さんを招き、お話をうかがいました



2018年2月 守口市駅



2019年11月 樟葉駅

ご協力ありがとうございました



京橋事務所に設置している署名タワー

パルコプでとりくんでいる平和活動はホームページでもご覧になれます→
https://www.palcoop.or.jp/au_ji/peace.html



ハンガー・フリー・ワールドの 第19回「書損じハガキ回収キャンペーン」 にご協力ありがとうございました

1月～5月末で実施し、4,271名の組合員さんから協力があり、換金額は750万5,236円でした。募金は、飢餓に直面する国々で母子の健康を守るための栄養改善、子どもの学力向上、成人の識字率向上、農業推進などの事業に活用されます。

- 全国で取り組まれて、9,826万円を超える換金額になりました。今後とも、キャンペーンにご協力くださいますようお願いいたします

病気がちだった子どもが、すっかり元気に

西アフリカのベナンで、3歳未満の栄養不良児に地元でとれる食材を使った栄養満点のおかゆを週3日、朝ご飯に提供しています。4年前、長女のマリナちゃんは病気がちで11キロ離れた病院へしょっちゅう通っていました。ハンガー・フリー・ワールド（HFW）の栄養改善事業で栄養のあるおかゆの作り方を教えてもらえると聞き、お母さんが参加。家で実践したところ、今ではマリナちゃんはすっかり元気に。そのあと生まれたネラちゃんは病気することなくすくすく育っています。「今朝も栄養のあるおかゆを子どもに食べさせてきました。2人の子どもは私の宝物です。子どもを病院に連れて行くというストレスがないことが今はとても幸せです。治療費の支払いは大きな負担でした。浮いたお金で干し魚などを買うことができます。2人の友人にもHFWの啓発集会に来るように誘いました。そのうちの1歳半の子どもの栄養状態も改善しています」とアロチマさん。



パルコプでは資源の有効活用を すすめています

卵パック・仕分け袋のリサイクル

共同購入などで利用された「卵パック」「仕分け袋」を配送時に回収。再生原料にリサイクルし、各種プラスチック製品として利用されます。



▲物流センターに卵パックが集められ粉砕機にかけてペレットに

マイバッグ運動

店舗でのお買い物の際、マイバッグ持参にご協力いただいています。持参率は89%以上で、レジ袋に換算すると約600万枚に（19年度）。

環境負荷を減らすCO・OP商品

コープ商品ではプラスチック容器重量の削減や再生プラスチック・植物由来プラスチックへの切り替えなど、できることから取り組みを始めています。



▲CO・OPラベルのない水（あずみ野）

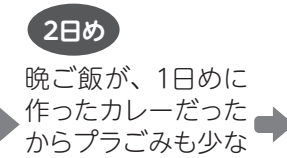
やってみたいよ！「家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ」



パル子が
 1週間チャレンジ
 してみたよ！



1日め
 プラごみが出た時にすぐに数えられるように、ごみの内容と数をメモ。1日の集計がしやすい！



2日め
 晩ご飯が、1日めに作ったカレーだったからプラごみも少ないで。って母ちゃんが言ってたよ。



4日め
 冷凍食品の包装とか、1食ずつ冷凍しといったご飯のラップとかがプラごみになっちゃう。



6日め
 母ちゃんの化粧品、キャップ・ポンプ・ボトル・フィルムってそれぞれ数えたよ。

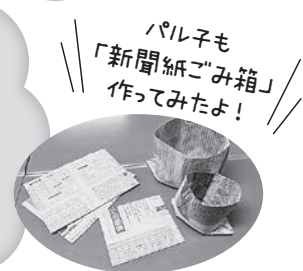
7日間で合計93個になったよ。最初の3日間だけでも41個もあった！
 こんないっぱい、ほかにたんやなあ！

チャレンジした組合員活動委員さんの 感想とわが家の工夫

ごみの大部分はプラごみと改めて認識しました。手軽さ、便利さを追求しすぎているのではないかと思います。少しの工夫でプラごみは減らすことが可能なので今後も意識していきたいと思いました。

ラップを多く使用しているとわかった。ラップにかわるシリコン蓋や蓋つきの陶器などでラップごみは減ったと思った。

生ごみ処理には、「新聞紙ごみ箱」を利用する。お弁当を買うといっしょにプラごみが増える。できるだけ手作り（素材から）調理ができればと思うが、事情もありなかなかできない事多いですね。



パル子も
 「新聞紙ごみ箱」
 作ってみたよ！

LET'S TRY! チャレンジしよう！ 「家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ」

- 【調べ方】**
 ①「記入票」「提出用紙」をダウンロードし、調べる期間を決める
 ・連続3日間をご自分で決めてチャレンジ！
 ②記入票に書き込む
 ・容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品をごみとして捨てたとき、その数を該当する欄に「正」の字などで記入
 ③提出用紙に記入し回答する
 ・調べ終わったら、提出用紙にごみの合計数や感想などを記入し、それをもとに下記のQRコードから回答。
 ・回答いただいた内容は、個人が特定されない形で集約し、機関紙「ぼるタイム」および、大阪消団連Webサイトで結果を発表します。

【申し込み締め切り】 11月7日（土）

【提出締め切り】 12月5日（土）

【応募方法】

右のQRコードから「記入票」「提出用紙」をダウンロードしてください。パルコプホームページのトップ画面「お知らせ」（10月26日付）からも応募いただけます。



「記入票」「提出用紙」の郵送を希望される方はお電話でご連絡ください（提出時の返信用封筒も同封いたします）。組合員サービスセンター

☎0120-299-070 FAX 0120-299-230

携帯・PHSからは☎072-856-7671（有料）

（月・土9:00～17:00火～金9:00～18:00）

主催：大阪府生活協同組合連合会
 全大阪消費者団体連絡会・地球環境市民会議（CASA）